

令和5年3月31日

# DX推進状況

令和4年度

 高知通運株式会社

代表取締役 曾志崎 雅也

# DX戦略に対する 定量・定性評価

No	課題/目的	目標値	実績値（定量）	実績値（定性）
-	配車業務の形式知化	空車運行距離 10.0%減/月	空車運行距離 12.5%減/月	各社間で実施している配車業務を統一させるため、総合配車チームを立ち上げた結果、車両情報の集約ができ、空車回送距離が減少した
1	配車業務のデジタル化	事務作業総量 1日→2時間	事務作業総量 1日→2時間	各社の運行管理表を、社内共有フォルダやTEAMSを活用し集約することにより、荷物・空車情報の共有が可能となり、事務効率が向上した
2	配車予測の高度化/自動化	配車人員の作業量 4.0名→3.5名ボリュームへ	配車人員の作業量 4.0名→3.5名ボリュームへ	高知大学との産学連携により自動配車システムならびに出発台数予想システムを設計し、担当者の経験で行っている業務のソフトウェア化を試作できた
3	グループ車両に関するデータの集約	グループ車両情報を一元管理し、維持コストを集約し、車両代替時期の見極め・見える化	車両情報を一元化する為に、ツールの検討ならびに入力情報の統一化	各社バラバラに管理していた情報を統一化することが出来た。管理ツールを検討(パッケージ品 or 自社開発)・導入することにより、情報管理の簡素化を推進中
4	車両/ドライバーデータのデジタル化による付加価値創出	事故情報の把握、冷凍情報(リアルタイム温度管理)・位置情報(着時間、労務管理)の把握等	デジタコ(NPシステム社)の新サービス導入の検討	-
5	社内インフラの整備	全グループ(11拠点)のネットワーク網の構築	10拠点まで作業完了	各グループのネットワーク網を構築し、機能不全を起こしていたサーバーと老朽化したPC端末等の刷新を行うことにより、安定したシステム運営が可能となった
6	情報管理ポリシーの制定	セキュリティインシデント 1件未満/月	セキュリティインシデント 1件未満/月	月に1度、情報セキュリティを学ぶ動画を全社員に配信することにより、情報セキュリティへの理解を高めた
7	社内情報資産の見える化	-	-	LINWORKSを活用した社内ポータルサイトを作成し、社内情報資産の見える化を実現した
8	経理業務の効率化	全グループの経理・総務業務の統合による重複業務の削減	会計、給与ソフトをPCAに統一	各社バラバラだった経理・総務業務ソフトを統一することにより、重複して行っていた業務を削減できた

## 社長メッセージ

2年前の当社は、リモートの「リ」の字に対応するため、パソコン用カメラやマイクを大型家電店に買いに走り、事務所はLANケーブルが絡み合うDXを語るような会社ではありませんでした。日常業務を抱えながら必死に新しい言葉や資料の作成に励み、今やMicrosoft365を入れた最新機種ノートパソコンと携帯のデザリングを使い、議事録をとりながらリモート参加者を交えて社内会議ができるような会社になりました。

改めてDX化の結果を問われますと回答に窮する処もありますが、デジタル化については少々語れるインフラと人材がずいぶん育ったとご報告できます。

この2年間は県のサポートに多く助けていただきましたが、社内で動き出したデジタル化は自分たちで進めていけると確信します。

代表取締役 曾志崎 雅也